

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都調-02 風致地区事務 <input type="checkbox"/> 支援部門									
主管課	都市調整課	関連課								
分野名	都市景観									
目標 (目標値)	都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図る									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人						
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	1,365	1,400	1,241						
	(国・県)	180	160	160						
	(負担金等)									
	(一般財源)	1,185	1,240	1,081						
	人員配置数	5.0人	5.0人	5.0人						
	人件費(千円)	37,669	39,918	43,068						
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	39,034	41,318	44,309						
	市民1人当りの経費(円)	220	233	250						
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→	横浜市	横須賀市	藤沢市	鎌倉市	単位				
	全市域	43,498	10,068	6,951	3,953	ha				
	風致地区面積	3,711.0	1,356.0	584.0	2,194.0	ha				
	風致地区割合	8.53	13.47	8.40	55.50	%				
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						
風致地区事務	1,365	風致地区事務	1,712	今後の方向性	A	理由・手法	古都保存法や鎌倉市風致地区条例等の適切な運用と周知の徹底を図るとともに、歴史的風土の良好な維持、継承を目指す。			
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	企業や個人の行為者等に対して「風致地区条例」はもとより「鎌倉市における風致地区条例の運用に関する審査基準」の内容の周知・理解を促進すること。また、古都保存法の趣旨、手続、規制等を広く市民や業者に理解してもらうこと。												
課題解決のための取組	窓口相談や電話での問い合わせ、具体事例の申請事務など、日常業務のあらゆる場面で相手に丁寧な説明を心がけ、内容を理解し風致の維持に協力してもらえるよう、地道な努力を重ねている。							取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	風致地区や歴史的風土保存区域等は、豊かな自然と歴史的文化遺産を有する本市の風致維持、歴史的風土の保存を行う上で重要な役割を担うものであり、今後も土地所有者や寺社、行為者等に風致地区条例及び古都保存法の手続、規制等に関する理解が得られるようにする必要がある。												
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)					①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	「風致地区条例」の趣旨や規制等について、理解と協力を求めていくと共に、平成26年度当初から施行した、鎌倉市風致地区条例の適切な運用により、鎌倉の特性を生かした風致の維持育成に努める。古都保存法の趣旨、手続、規制等の啓発、周知に当たっては、引き続き業界、市民等に理解と協力を求めていく。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ※□事業完了					

評価者名

都市調整課担当課長

芳本 俊雄

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
風致地区 事務	風致地区条例に基づく許認可事務 古都保存法の趣旨、手続、規則等の啓発、周知				○	○	○	○	
	主な 個別 事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1147	事務補助嘱託員報酬 1人	1,029	1,028	○	○	○	○
		1147	事務補助嘱託員費用弁償	84	81	○	○	○	○
		1147	消耗品費	38	37	○	○	○	○
		1147	印刷製本費	10	10	○	○	○	○
1147	風致地区内標柱維持修繕料	200	174	○	○	○	○		
1147	古都保存連絡協議会負担金	50	35	○	○	○	○		
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								